

審議会等会議録

会議の名称	加須市総合教育会議
開催日時	令和5年2月7日（火） 15時00分から17時20分まで
開催場所	本庁舎 3階 庁議室
議長氏名	角田 守良 市長
出席委員	角田 守良 市長 小野田 誠 教育長 遠藤 康江 教育長職務代理者 猪股 富美子 教育委員 山本 俊一 教育委員 松永 修 教育委員（6名）
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 加須市立幼稚園のあり方骨子（案）について 4 報 告 (1)水泳指導におけるプールの共同利用及び民間委託について (2)児童・生徒の学力向上について (3)令和5年度からの本市における部活動のあり方について 5 閉会
会議資料 の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 総合教育会議名簿 ・ 前回（11/4）会議録の写し ・ 報告1 水泳指導におけるプールの共同利用及び民間委託について ・ 資料1 民間スイミングスクールプール利用の検証について ・ 資料2 プール共同利用の検証について ・ 報告2 児童・生徒の学力向上について ・ 報告3 令和5年度からの本市における部活動のあり方について ・ 資料1 各中学校における1，2年生の部活動加入状況について ・ 資料2 スポーツ団体等一覧 ・ 資料3 文化団体連合会一覧 ・ 資料4 今後の地域移行に向けて ・ 資料5 白岡市部活動フォーラム参加報告 ・ 資料6 加須市部活動あり方検討委員会について

会議の公開又は非公開の別	一部非公開
非公開の理由	意思決定の前に情報を公開することで事務に支障をきたすおそれがあるため ・地方行政教育の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項
傍聴者の数	なし
説明者の職・氏名	こども保育課長 関口 久美子 教育総務課長 高貫 貢 学校教育課長 清水 博文
事務局職員職・氏名	副市長 萩原 利一 総合政策部長 石井 幸子 こども局長 野本 朋子 生涯学習部長 齊藤千恵美 学校教育部長 遠井 久夫 政策調整課長 増田 浩之 こども保育課長 関口久美子 教育総務課長 高貫 貢 学校教育課長 清水 博文
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容（発言内容、審議経過、決定事項等）
事務局	【開会】
事務局	<p>【傍聴について】</p> <p>この会議は法律により原則公開となっているが、今回は傍聴人なしである。</p> <p>なお、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第6項において、本会議は、個人の秘密を保つため必要があると認めるときや会議の公平性が害される恐れがあるとき、その他公益上必要があると認めるときには非公開とすることができる」とされている。</p> <p>今回の議題である「加須市立幼稚園のあり方骨子（案）について」については、議事録の公開に配慮し、本協議が忌憚のない協議となるよう、「非公開」とさせていただきたいと考えているが、よろしいか。</p>
各委員	了承
市長	【あいさつ】
事務局	<p>【署名委員について】</p> <p>今回の署名委員は、名簿順で松永委員にお願いしたい。</p>
各委員	了承。
事務局	会議の運営要綱の規定により、会議の進行は市長が行うと定められており、市長に議事の進行をお願いしたい。
市長	議題を非公開とすることについて先ほど承認をいただいた。これより非公開とする。
議題 加須市立幼稚園のあり方骨子（案）について 非公開	
市長	非公開を解く。
	報告1 水泳指導におけるプールの共同利用及び民間委託について説明を。
教育総務課長	（報告1について説明）
山本委員	移動がない自校プールの単独利用が一番よいと思うが、共同利用や民間委託を進めている理由はプールの老朽化や安全面の問題なのか。

生涯学習部長	<p>実施計画で令和5年度の民間委託件数が増えていないのはなぜか。財源の問題なのか民間委託のメリットが少なかったからなのか。</p> <p>共同利用や民間委託を進めている理由は、プールの老朽化が一番の原因である。</p> <p>令和5年度については民間委託を増やす計画はない。移動時間の確保が難しいという課題はあるが、民間委託は児童一人当たりの単価であるため、小規模校については民間委託を検討していく。</p>
山本委員	<p>児童にとって何がよいのかを優先してほしい。民間委託にメリットが多いのならば、段階的に民間委託を進めてほしい。共同利用はプールの老朽化が進むにつれて3校による共同利用などとなると大変である。</p>
市長	<p>総合教育会議について、次回からは報告ではなく議題とするように。</p> <p>報告2 児童・生徒の学力向上について説明を。</p>
学校教育課長	<p>(報告2について説明)</p> <p>意見なし</p>
市長	<p>報告3 令和5年度からの本市における部活動のあり方について説明を。</p>
学校教育課長	<p>(報告3について説明)</p>
松永委員	<p>総合的なガイドラインによると、速やかに部活動を地域移行し、教育的な意義を発展継承させる、さらに地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備するとされているが、求められるレベルが高く迅速に対応するのは難しいと考える。段階的に部活動を地域移行していく手順を定めていくのが現実的ではないだろうか。</p> <p>国もガイドラインを示してはいるが最終的なビジョンがまだ見えていない状態で、加須市としても最終的にどうするのか見えていないと思う。</p> <p>休日の部活動を地域移行していくという中で、まず何ができるのかを整理していく段階である。</p> <p>現在、小学生を指導している団体に中学生の部活動を任せると負担が大きくなってしまおうと考える。</p> <p>情報を集めて問題点を整理していくことが大事である。迅速に行うのは難しいので、計画を立てながら段階的に進めていくべきであると考えている。</p>

猪股委員

当初は令和5年度から3年間で段階的に移行していく計画であったが、財源や人材確保の問題があり、令和5年度は調査研究でよいということになった。課題はあるがチャンスでもある。子どもたちや保護者が抱える課題を地域で支えていくという、これからの地域社会のあり方を示している。部活動の地域移行は教員の働き方改革の一つであり教育委員会が主導して行うべきかと思うが、まちづくりの視点に立って、市長部局も参画して進めてもらいたい。

子どもや保護者が地域活動に参画するとこれまで想像してこなかったリスクやトラブルが発生する可能性がある。そのため、教育委員会だけでなく市長部局を含めて幅広い分野から制度設計を考えてもらいたい。

加須市にはたくさんの市民グループが活動しているので、中学生が生涯学習の分野に積極的に参画し、地域の市民活動に加わることのできる仕組みができれば、地域社会が子どもたちを見守るという仕組みもできる。このような観点からも、幅広い分野が参画して制度設計をしてほしいと考える。

山本委員

中学校の部活動の教育的価値を大事にしてほしい。生徒へのアンケート結果を見ると、教員による指導を希望する生徒はたくさんいる。部活動の地域移行で問題となるのは人間関係であると考ええる。

名前も性格もわからない子どもたちを相手に地域の指導者が一人で指導するのは不安ではないだろうか。地域の指導者は技術の指導はできるが、教育的な指導は難しいのではないか。休日にトラブルがあった場合、現場にいなかった教員が適切な対応をすることができない可能性もある。

いきなり地域移行するのではなく、準備段階や移行当初は、平日の部活動に地域の指導者が参加し、同様に休日の地域活動に教員が参加して一緒に指導するなど、段階的に移行していくのが良いと考える。

総合型地域スポーツクラブを作り行政が学校と地域の橋渡しを行うことが理想だと考える。

北川辺町の時代に総合型地域スポーツクラブに中学生が部活動の一環として参加した事例があったが、地域と子どもたちがとてもよい関係を築くことができた。

遠藤教育長職務
代理人

休日に普段と違う場所で部活動を行うのは移動の問題が発生するため、何らかの対応を検討していただきたい。

地域活動に子どもたちが参画するのは世代間交流が生まれるのでよいと考える。

各種スポーツクラブがあるが、種目によってはクラブ数

市長 事務局	<p>が減っており、若い人の加入も少ない。高齢化により部活動の指導ができる人材が不足している種目もあるのではないか。</p> <p>文化部は地域にある限られた種類の文化活動の中から子どもたちが選択して加入することになる。</p> <p>部活動の地域移行について、どの部署が中心となって制度設計していくのが課題である。</p> <p>【閉会】</p>
<p>会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。</p> <p>令和5年 2 月 24 日</p> <p>署名 <u>松 永 修</u></p>	